

# 文化薫道

## ◆其の四十八 瀑布と滝

天拝山の山裾に静かにたたずむ古刹武蔵寺。その傍らの木立の中に小さな滝があります。菅原道真公が、天拝山山頂で潔白を天に祈る際に身を清めた、という伝説がある「紫藤の滝」です。その名残を感じるには、あまりにささやかな現在の姿ですが、かつては「龍王瀑布（りゅうおうのたき）」と呼ばれていました。

武蔵寺の由来を記した江戸時代の史料には水の流れに勢いがある様や、



紫藤の滝と菅公『武蔵寺縁起絵図』より

菅原道真が中国の「龍門水」に例えて名付けたことが記されており、中国の名所の大きな滝にちなんでいることが分かります。この他にも、江戸時代に福岡

藩が編さんした地誌の中に「龍王瀑布」の名称が出ており、広く知られていたことが分かります。

ところが、明治時代の観光案内などには「龍王瀑布」、「龍王の滝」と「紫藤の滝」が併記されるものがありつつも、やがて「紫藤の滝」の名称が定着していきます。

もともとは、武蔵寺の由来や藤原虎麿の伝説を語るなかで、中国の大瀑布に例えて語られていた「龍王瀑布」がやがて菅公伝説が前面に出て、「紫藤の滝」が一般化していった、ということのようです。

この変化は、明治22年の九州鉄道開通および二日市停車場の開設と、それに伴う湯町や武蔵寺、天拝山周辺の観光地化の進展と軌を一にしているようにも見えます。

地域の歴史の中で重要視される要素が地名に影響を与えることがある、その一つの例と言えるのではないのでしょうか。

問い合わせ先／文化財課

- 年末年始のごみ収集休み 12月31日(火)夜の持ち出し～1月2日(水)夜の持ち出し
  - クリーンヒル宝満の休み 12月31日(火)～1月3日(金)
  - し尿・浄化槽汚泥の収集休み 12月28日(土)～1月5日(日)
- (株)筑紫野市浄化槽センター、(有)公衛社、(有)筑紫衛生社、(有)両筑商事

●問い合わせ先 環境課

